

## ボツワナ共和国月報(2022年9月)

### 主な出来事

#### 【COVID-19】

- ボツワナ政府による新型コロナウイルス対策にかかる諸規制の解除

#### 【内政】

- 憲法見直しのための委員会による報告書の提出

#### 【外政】

- マシシ大統領、ジンバブエ外遊
- マシシ大統領、訪米及び第77回国連総会等出席(12日～24日)
- 国連経済社会理事会(ECOSOC)メンバー国への再選出等
- ケニア及びアンゴラの大統領就任式への出席

#### 【経済】

- 2024/2025 会計年度の財政収支は黒字の見込み
- ボツワナの長短期格付けは「BBB+/A-2」、見通しは安定的
- 10月よりモルプレ・コール・マイン(MCM)が石炭輸出開始
- 8月の年間消費者物価指数上昇率は14.6%
- 2022年第2四半期のGDP
- 2022年第1四半期の外国人観光客数
- 国連グローバル・コンパクトのボツワナ事務所が開設

#### 【COVID-19】

- ボツワナ政府による新型コロナウイルス対策にかかる諸規制の解除

28日、ボツワナ保健省は、公共の屋内(公共交通機関含む)で課してきたマスク着用の義務を、同日を以て解除する旨発表。今後は、屋内外問わず、マスクの着用は個人の裁量に任せられる。また、新型コロナウイルス対策として継続されてきた諸規制(入国時のPCR検査の実施等についても、併せて解除。

#### 【内政】

- 憲法見直しのための委員会による報告書の提出

29日、憲法見直しのための委員会は、過去8カ月に亘る調査結果の報告書を大統領へ提出した。同委員会は国内の57選挙区全てを回り、国民の意見を吸い上げた。今後、政府は同報告書の精査を開始する。

#### 【外政】

- マシシ大統領、ジンバブエ外遊

1～3日、マシシ大統領は、ジンバブエを訪問し、ムナンガグワ・ジンバブエ大統領と二国間会談を行い、ジンバブエ農業展の開会式に出席。同行したクワペ外務大臣は、ボツ

ワナ経済の回復のため、ジンバブエに対する経済制裁の解除を国際社会に働きかけていく旨述べた。本外遊には、大統領夫人、農業大臣及び教育・技術開発副大臣も同行。

#### ○マシシ大統領、訪米及び第77回国連総会等出席(12日～24日)

マシシ大統領は、国連総会出席に併せ、テキサス州の畜産業や農業、保健医療にかかる施設等を訪問。ニューヨークでは、世界エイズ・結核・マラリア対策基金の第7次増資にかかる会合、米・アフリカ・インスティテュートによるボツワナによる地域の民主化への貢献を賞する授賞式等に出席。大統領夫人、外務大臣、鉱物・エネルギー大臣、教育・技術開発大臣及び保健大臣が同行。

#### ○国連経済社会理事会(ECOSOC)メンバー国への再選出等

ボツワナは国連経済社会理事会(ECOSOC)のメンバー国の任期を本年で終えるが、次期(2023年1月から2025年12月)についても再選。また、ボツワナ国連大使は、本年1月より就任した内陸開発途上国(LLDC)議長国の立場を利用し、大統領も期待するボツワナの魅力発信に向け、準備会合を含む各種会議を積極的に開催していく旨述べた。

#### ○ケニア及びアンゴラの大統領就任式への出席

13日、ルト・ケニア大統領就任式に、モルワエン大統領府担当大臣が出席。15日、ロウレンソ・アンゴラ大統領就任式に、シャムクニ法務大臣がツォフワネ大統領代理の代わりに出席。当初出席予定であった同大統領代理は、怪我のため渡航が困難となった。

#### 【経済】

##### ○2024/2025 会計年度の財政収支は黒字の見込み

財務省は「2023 年予算戦略ペーパー」において、2024/2025 会計年度の財政収支は、政府予算が8年振りに黒字化(3.55億プラの黒字)の見込みを公表。背景に、ダイヤモンド価格の上昇を挙げている。他方、同省は、国内外からの借入継続に加え、ウクライナ情勢による不透明性を踏まえた上で、2023/2024 会計年度は、次期国家開発計画(NDP12)の実施初年度であり、マクロ経済の安定と開発ニーズに対応するための財源を確保するためには、財政の持続性が必要になると述べている。

##### ○ボツワナの長短期格付けは「BBB+/A-2」、見通しは安定的

S&P は、ボツワナの長期・短期外貨建ておよび現地通貨建てソブリン格付けを、「BBB+/A-2」に据え置き、ボツワナ銀行の長期・短期の外貨建ておよび現地通貨建ての信用格付けも、「BBB+/A-2」に据え置き、見通しを「安定的」とした。ダイヤモンド輸出に依存するボツワナ経済を、世界経済情勢の悪化に耐性ありと判断し、2022-2025 年にかけて、財政は概ね均衡し、経常収支は緩やかな黒字になると予想。

○10月より、モルプレ・コール・マイン(MCM)が石炭輸出を開始

MCMは、来月10月、モテオ炭鉱の石炭を国際市場へ輸出予定と発表。背景に、ウクライナ情勢によるエネルギー危機及びインドや中国を中心としたアジア市場でのエネルギー需要の増加を挙げた。マシシ大統領は、今般の石炭輸出に際し、「経済成長のための代替エンジンを探し続けているが、石炭のように豊富にある他の鉱物に収益基盤を拡大する最善の方法を模索している」と述べた。

○8月の年間消費者物価指数上昇率は14.6%

ボツワナにおける8月の年間消費者物価上昇率は、2008年12月(13.7%)以来の高水準となった前月の14.3%から0.3%増の14.6%となり記録を再更新。前月に続き、運輸部門の値上がりが顕著。

○2022年第2四半期のGDP

2022年第2四半期名目のGDPは、前期の53,846.3百万プラに対し58,586.1百万プラとなり8.8%増加した。内訳は、鉱業・採石業が16.8%占め、続いて、行政・国防が16.6%、卸売・小売が11.2%、建設が11.1%と続く。他方、同期の実質GDPは、前期比で5.6%増加した。これは、ダイヤモンド、水、電気の実質価格が増加したことによる。

○2022年第1四半期の外国人観光客数

ボツワナへの入国者数(外国人)は175,699人、そのうち外国人観光客は90.1%を占め158,284人。外国人観光客の大部分は、SADC地域(南アフリカ35.8%、ジンバブエ21.7%、ザンビア18.2%)と全体の4分の3以上を占めた。

○国連グローバル・コンパクトのボツワナ事務所が開設

国連イニシアティブ「グローバル・コンパクト」のボツワナ事務所が開設。同イニシアティブは、人権、労働、環境、腐敗防止の分野で国際的に受け入れられている原則を企業内に浸透させることを目的とし、162カ国以上で15,000以上の企業、3,000以上の非営利組織が署名する、世界最大の企業の取組。ボツワナの企業は本取組に署名していない。